

地域おこし協力隊初任者研修(令和3年度)

1. 趣旨

新たに着任した地域おこし協力隊員が、先輩隊員の経験を交えながら、地域への溶け込み方を学ぶ。また、先輩隊員との座談会を通して、初任者が抱く疑問やウィズ・アフターコロナにおける活動に対して助言を得る。

2. 日時・方法

令和3年5月27日(木)13:00~16:50

WEB 会議アプリケーション「zoom」を利用したオンライン研修

3. 対象及び参加者数

- ・ 委嘱から概ね1年以内の市町村地域おこし協力隊員 60名(31市町村)
- ・ 地域おこし協力隊担当職員 13名(10市町村)

4. 内容

- ① 全国及び県内の取組・受入状況等の紹介
- ② 地域おこし協力隊制度の説明
- ③ 先輩隊員からの体験談の紹介
- ④ 先輩隊員との座談会(グループ毎)

先輩隊員

杉山 豊さん	長野県協力隊、豊丘村 OB 【都市農村・地域交流拠点】
榎並 真由子さん	筑北村 OG 【空き家バンク、移住促進、地域活性、情報発信】
榎本 郁美さん	中野市 【食から農業を活性化プロジェクト】
副島 優輔さん	佐久穂町 OB 【移住交流、空き家対策、情報発信、集落運営支援】
村澤 雄大さん	天龍村 OB 【情報発信、PR】

(当日の様子)



5. 参加者からの感想・意見(参加者アンケート結果より)

- 協力隊の制度や予算の話などを詳しく説明してもらって良かった。
- 先輩隊員の体験談や、他の隊員の話がとても参考になった。
- 長野県全体の地域おこし協力隊の活動が知れてよかった。
- 座談会の人数が多く意見が出にくかったので、座談会は少人数のほうが良い。
- 活動内容ごとの座談会があると良い。

(以 上)